

# I. 基盤整備センターの概要

## 1. 設立の目的と業務概要

### (1) 目的

近年の少子高齢化や産業構造の変化、グローバル化等社会経済環境の変化を背景に、労働力の需給両面にわたる構造的な変化が著しく進展する中、持続可能な活力ある経済社会を構築するため、若年者、女性、高齢者、非正規労働者を含め一人一人の能力を高めることが必要となっている。

このような社会の課題に応じるため、基盤整備センターは、職業能力開発の実践に必要な調査研究、教材・訓練コース等の開発及び訓練技法・評価等の開発を体系的に行い、合わせてここに蓄積される各種職業能力開発に関する情報を発信していくことを目的としている。

### (2) 平成24年度業務の概要

#### ア. 企画調整部

企画調整部には3室があり、次のような活動を行った。

- ① 企画調整室では、基盤整備センターの運営方針等の企画調整の業務を行った。
- ② 普及促進室では、基盤整備センターの調査・研究、開発成果を全国の職業能力開発施設等に対して広報・普及するとともに「第20回職業能力開発研究発表講演会」を開催した。  
また、「職業能力開発報文誌」等専門情報誌の編集・発行を行った。
- ③ 職業訓練教材整備室では、情報発信システム「職業能力開発ステーションサポートシステム (<http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>)」(愛称：テトラス)による情報提供を行った。  
また、当室では職業訓練教材コンクールの審査業務も行った。

#### イ. 開発部

開発部には5開発室があり、次のような活動を行った。

- ① 高度訓練開発室では、職業能力開発大学校等の標準カリキュラムの見直しを行うとともに、「分野別実践的カリキュラムの設定に係る基礎研究(高度職業訓練専門・応用課程)」を行った。  
また、「新訓練科(高度職業訓練専門課程及び応用課程)の試行検証に関する調査・研究」を行った。
- ② 在職者訓練開発室では、在職者訓練カリキュラムの精査等を行うとともに、「成長分野の委託訓練カリキュラム等の開発及び検証実施に関する調査・研究」を行った。
- ③ 教材開発室では、普通職業訓練・普通課程用教科書4教科書の改訂を行った。  
また、「分野別実践的カリキュラムの設定に係る基礎研究」(普通職業訓練普通課程)として建築、土木分野に係る基礎研究を行った。
- ④ 訓練技法開発室では、離職者訓練カリキュラムモデルの検討等を行うとともに「離職者訓練用訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査・研究」、「求職者に対する訓練コースのコーディネート等に関する調査・研究」、「求職者支援法の創設に基づき実施される訓練の質保証に関する調査・研究」、「離職者訓練の実施に係る訓練用教材等のあり方についての調査・研究」を行った。
- ⑤ 調査開発室では、「総合的かつ体系的な職務分析の推進に関する調査・研究」を行った。